

平成31年度エコマネジメント長野の取組概要

環境方針

【ポイント】

- ・第5次長野県職員率先実行計画に基づき、昨年度の方針を適正に見直し、本来業務の特性を十分に踏まえて策定

- ・掲示場所・方法を工夫し（掲示の用紙はA3以上）、周知を徹底

省エネ・省資源

省エネ・省資源は、施設単位で管理・マネジメント

【ポイント】 適切な目標設定

- ・実効的な取組とするため、各所属において、自主的に、柔軟な目標を設定

環境関連施策、本来業務における環境配慮の推進
取り組む所属を重点化し、実効性を向上

【ポイント】

- ・業務特性を踏まえた適切な目標設定
- ・目標を数値化する等、管理を行いやすい目標設定

- ・対象所属以外の所属においても、業務の中で環境に結び付けられる業務を認識し、推進する

体制

【ポイント】

- ・取りまとめ所属の役割の明確化、強化
- ・所属長の取組意識向上

- ・主管課及び合庁事務局は、所管所属や地域の取組状況等に対し、積極的に助言等を行う
- ・管理者研修における取組意識強化の周知

取組状況等の把握・評価、取組結果の公表・発信

【ポイント】

- ・環境目標の進捗管理の実施及び進捗管理不良の場合の是正処置の徹底
- ・率先的・自発的な取組の水平展開

1 環境方針の策定（4月）

- ・全体方針の確認
- ・部局別環境方針の策定

2 所属別環境目標の策定（5月）

- ・省エネ・省資源の取組（様式G1）
- ・環境関連施策・環境配慮の取組（様式G2）

3 実施（4月から順次）

- ・実施体制の構築（4月）
- ・役割に応じた教育・訓練の実施（4月～）
- ・エネルギー使用量等の調査・把握（4月～）
（毎月入力し、半期毎に報告）
- ・省エネ・省資源の取組（5月～）
- ・環境関連施策・環境配慮の取組（5月～）
- ・環境関連法令等の遵守確認（2月）
- ・緊急事態対応の確認（適切な時期）

4 取組状況の評価

- ・エネルギー使用量等の把握・評価（半期毎）
- ・環境目標の取組状況の把握・評価（半期毎）
- ・取組結果の公表・発信
（環境活動レポートの発行：9月）

5 監査・見直し

- ・内部環境監査による運用状況のチェック（10～12月）
- ・取組状況等に対する外部からの提言（1月）
- ・外部提言に対する対応方針の検討（2月）
- ・システムの見直し、取組の改善（3月）

役割に応じた教育・訓練の実施

【ポイント】 一般職員への教育・研修の実施の徹底

- ・所属（効果的な実施単位）ごとに、他の職場研修、課内会議、朝礼等の機会を捉えて、効果的に実施

環境手帳の活用

【ポイント】

- ・推進員は全職員の環境手帳を確認
- ・推進員は個人の環境目標の記入を促しチェック

- ・個人の環境目標を記入し、取組意識の向上に努める
- 省エネ・省資源、環境関連施策・環境配慮の取組**

【ポイント】 取組の見える化の推進

- ・各所属における取組状況の見える化（ツール提供）、職場内での掲示、HP等での取組の発信等により、職員の取組意識を高める
- ・施設管理担当所属は、施設内の各機関への、エネルギー使用量等の可能な限りリアルタイムな情報提供について工夫

内部環境監査の実施

【ポイント】

- ・監査員の力量向上、継続性、役割の明確化
- ・事前チェックリストによる自己チェック

- ・監査員の力量向上のため、研修内容の充実
- ・被監査所属と監査員の間で所属の状況をスムーズに共有できるように、事前の自己チェックを実施

- ・環境に配慮した事業の実施状況を重点的に監査
- ・法令の遵守状況の確認

⇒指摘事項等に関連する法令所管課への情報共有

- ・内部環境監査における「所属長インタビュー」
- ・優良事例を積極的に拾い上げ、評価する

⇒被監査所属は、自らの率先的な取組をアピール

- ・監査結果のデータベース化の検討